

# ののほな

野の花館だより  
2008/冬号 / No.50

今年もはや残すところ1か月。皆さんお変わりありませんか？



いろいろびらき おごそかな神事 (11月3日)

## これからの活動予定

(一部変更になる場合もあります)

12月13日(土)10時~13時

講座5・竹細工教室 「お正月飾りを作ろう!」講師 金子信吾さん

・12月14日(日) 16時~18時

ミールミニコンサート 番外編 VOL.2 ~ことばを彩る音達~

Violin 稲田竜斗, Piano 稲田由香里 朗読 木内里美

1月24日(土) 10時~13時

子どものための舞台公演「人形浄 公演やじろべえ」

2月7日(土) 10時~13時

講座 ・お話教室(宮崎の民話)

## 第4回・染色教室・・・ヨモギ染め

身近な草木で染めてみよう！食べてみよう！ 講師：岡田心平さん(綾の手紬染織工房)

**野**の花館での草木染めはいつも新鮮。仕事で草木染めはしているけれど、野天の下で焚き物を焚きながら染めるのがいつも楽しい。染め物の原点に帰れるひととき。

今回の染料は“ヨモギ”。思いの外に大勢の人が来てくれたので、とても一回の染めではやりきれない。今回は「自分でシャツとか染めたいものを持ってきて下さい」と呼びかけて、みなさんほとんど綿素材。まあ、普通はシルクは持ってないですね。

ところが、綿は染まりにくいんです。豆汁で下処理してから染め始めたのですが、洗ったらほとんど色が流れてしまいました。この時は焦りました。講師のメンツ丸つぶれ！

媒染して、もう一回液に戻したら、なんとか薄くだけど、染まりました。やさしい青みの黄色で、みなさんそれなりの満足して下さいました。やれやれ、よかったよかった。

来年はやっぱりシルク素材でやろうと思います。

(大人42名、子ども8名参加)子供たちは草もちをいただきながら紙芝居を楽しんだ。



### ヨモギ染め(綿、麻素材の場合)基本的な工程

1. 染める材料(シャツやスカーフなど)を、豆汁につけ込み、軽く洗う。
2. ヨモギを炊いて、染液を漉して取る。冷ましておく。
3. 液に、材料を入れる。火にかけて、沸騰して約20分。そのあと温度が下がるまで浸けておく。その間、ムラにならないようにかき回しておく。
4. 軽く洗う。
5. 湯にミョウバンを溶かし、漬け込む。約20分。
6. 軽く洗う。
7. 再び染液に入れる。約20分。
8. よく洗う。

必要に応じて、媒染や染色の回数を増やしたり、時間を変えたりすることもあります。

## 第5回講座・みそづくり教室

10月10日(金)10時~13時(大人6人、子ども10人)

10月18日(土)10時~15時(大人9人、子ども9人)



みそづくり教室 麹を仕込みます。

10月10日(金)

前日から水に漬けておいた古米 18KG を蒸して冷まし、麹の種を混ぜるだけでしたが、子どもたちも手伝って楽しく仕込みました。

5つのもろぶたに広げ待つこと3日、3日目の夕方にはほかほかと温かい麹ができました。白い花が咲いたようです。花が咲いたところで塩5kgを混ぜておきます。発酵を止めるためです。

10月17日(金)夕方~18日(土)

大豆(福岡県産)フクユタカ18kgを水につける。

みそづくり教室 10月18日(土)

前日から水に浸しておいた大豆を9時ごろから火をつけて大鍋2つで煮て柔らかくなったのは13時過ぎでした。これからは子供たちの力の見せ所... 鋳物のミンチ機でどンドン豆をひいていきます。

煮大豆の潰したものと麹を均一によく混ぜ耳たぶの柔らかさになったら、握りこぶしの大きさに丸めて一つ一つ仕込み容器に隙間のないよう、押し詰めます。すべて押し詰めたら、表面を平らにし、ポリエチレンラップを被せ、ふたをしてその上に、1~2KGの重しをする。2カ月程度でおいしい味噌が仕上がります。

今では、圧力なべを使ったりして時間短縮はできるのですが野の花館の広い空間と大なベミンチ機械など、昔からの道具もあることから子供たちと一緒にゆったり流れる野の花館の時間を楽しみながらの味噌づくりでした。

13時 受付開始、 13時半 いろり開き神事、火起こし

(アジア各地の砒素研修員 6名ほかに大人 42名子ども 22名参加)

**寒** くなりました。今年もいろりを開いて野の花館では暖房の中心になります。家の中で火を焚くことは危険も伴いやすいので今年の冬も安全に過ごせませう神様にお祈りをしました。それから写真のように火起こしの説明を聞いてみんなで火起こしに挑戦!!! みんな夢中でした。

そのあと、いろりを使ったおやつ作り。おいしいたれを用意して、お団子やお餅をいただきました。甘酒もおおよろこびでした。ミールのコンサ-トは濱崎さんとのコラボレーションが良かったと好評でした。



## アジア砒素ネットワークからの メッセージ

先日は大変お世話になりました。時間にも遅れてしまいまして大変申しわけありませんでした。研修員はみな、子供たちとの交流や素晴らしい音楽など、すてきな時間をすごさせてもらったといっていました。またあらためて書いてもらった感想をお伝えします。

これから、研修員らは土呂久や水俣にも足を運びます。今年は東京にも行く予定です。そして、最終日の12月10日には研修で培った知識をいかしてアクションプランを作成し発表してもらいます。



### 参加された研修員の皆様

バングラデシュ Mr. Md.Faruque Hossain  
インド Ms. Chauhan Purnima  
ネパール Mr. Paudel Dhruva Mani  
ベトナム Mr. Nguyen Trong Tuan  
中国 Ms. Huang Chuan  
ミャンマー Mr. Khant Zaw

保険・厚生省砒素プログラム部 加 川 野  
公衆衛生省 監査・公衆衛生部 上級行政官  
建設省 上下水道部 上水・衛生課 (Gorkha 州)  
天然資源環境省 水資源管理 水資源計画職員  
重慶大学 資源及び環境学院 准教授  
地域開発省 上下環境衛生部 技術系部長

# アイルランド音楽の夕べ ... 11月16日(日)



昨年に引き続き、アイルランドの笛の名手ショーン・ライアンと守安功・雅子による気の合ったアンサンブルを楽しみました。

今回は特にショーンさんのお話や歌が会場を沸かせていました。

## 感想

- ・ なつかしい曲、ありがとうございました。途中、子供の声がせっかくの演奏をだめにする場面があり、残念な思いをしました。 男性
- ・ 宮崎で Irish music がきけてとてもうれしかったです。Irish music は Pub も合うけど、野の花館にも合いますね!! とても素敵なコンサートでした。来年もお願いします!
- ・ 良かった。滅多に聴けない世界的な方の音楽を聴いた。オーケストラを聴いている様な気になった。ただ、ショーンさんの紹介がもっとほしかった。 81歳 男性
- ・ 民謡的なメロディーがとてもなじみやすくて遠い国なのに親近感を感じました。ショーンさんの歌が体にどーんとひびいて足元の根っこから力のある歌声にほれほれしました。笛の音がこんなにも奥深いのを体で感じさせて頂きました。またぜひ宮崎へ来て下さいね!! 28歳 女性
- ・ 中々良かった。アイルランドの民族がよかった。 67歳 男性
- ・ 楽しい限りのコンサートをありがとうございます。おしゃべりを楽しませてもらいました。結婚のときの曲はアイルランドらしくてとても良かったです。 49歳 女性
- ・ おひめ様とおうじ様と森のきこりさんの演奏を聴いてみたいですので良かったです。歌も情感がこもっていてよかったです。アイルランドが身近になりました。ありがとうございました。

## ミニコンサート

### 第16回「イタリア」 9月26日(金)19:00～

ゲストに長濱登志子さんを迎え、素敵なコンサートでした。中国の太鼓、歌の虫、3種のワルツ、パガニーニアナ、電気シヨック、シャコンヌなど他にソプラノ独唱・董、セレナ・タ、トスカなど…最後に3人でロッシ二を演奏してアンコールにこたえました。



### 第17回「秋の情景」 11月3日(祝)16:00

今回は子どもの夕べ08の中で実施、朗読の濱崎さんも加わり秋の情景たっぷりの1時間でした。火祭りの踊り、秋の月、月夜のでんしん柱など朗読とのコラボレーションがとても良かったです。



感想：

- ・とても良かったです。観客の近くで親しみやすかった。これからも身近で親しめるコンサートをたのしみにしています。
- ・とてもステキでした。こんな古い民家で素晴らしいイタリア歌曲が聞けるなんて涙がうすら出ました。また来たいです。
- ・子ども劇場時代が懐かしいです。秋の夕べに心が落ち着き、とても良かったです。また聞きたいです。

## 合わせ貝、貝桶、板絵(松尾春海)作品展

### 「花鳥風月を愛でる」 秋

10月11日～13日 10時半～18時

日本画家松尾春海さんの作品展が開かれ、野の花館がしばし雅びな雰囲気になりました。3日目の一期一会コンサートでは、尺八、琴、ソプラノの声音が一層雰囲気を盛り上げました。



尺八 山川烈氏、琴 山川玉枝氏、ソプラノ 大屋省子氏

## \* かんきつ姉弟 \*

金丸 智子

今年はメチャメチャ忙しく、なんと「いろり開き」に参加できなかった私達、しかも8月半ばから、11月頭まで全く野の花館へ来られなかったのだ！びっくり。

久々に来たちいとさく、いろりに燃えあがる火に目がうばわれ、持ってたのり巻を口に運ぶのも止まってしまうていた。すごいねえ、感動したんだねえ。話し合いの間も、本棚に囲まれた所にて、本を読んだり、おもちゃで遊んでたりと、ずっと静かだった。成長したもんだ！

この頃、自分で5才と言う朔。先日イオンで迷子になってしまったのだが、館内放送で、「たくみ君という5才の男の子が・・・」と流れた。全くもう！なのに別の日は、「朔は3才だから合唱には出ない」とか言う。上手いよね・・・。

まあ、使い分けできるようになっただけ、大きくなったってことよね。母はフクザツだ。

千夏の言いまわがい

買いもの 買いもの(ちなみに朔はきちんとと言える)

## \* 伊藤家の場合 \*

伊藤美穂子

秋が過ぎて夏勢は9歳、友樹は2歳になった。

毎日、何かと忙しくて、朝起きてから夜子ども達を寝かしつけるまで、なんだかずっと時間と競争している。夜、2人の寝顔を見ると明日はもっとおしゃべりしたり、遊んだりしたいなあ、いつも思う。

11月中旬、私の父の3回忌があった。今回は、私と夏勢だけが帰省した。ほぼ3日間、友樹とはなればなれになるが、友樹はパパっ子なので大丈夫だろうと思っていたが、空港で私と別れる時もやっぱり泣きもせず、ちょっとさびしいような・ほっとするような...

法事で、夏勢はとても頑張ってお経を唱えた。帰り際も、一人仏壇の前で手を合わせていた。大好きだったおじいちゃんと、何を話していたのだろう。

子どもは夏勢だけだったのでおばあちゃんや私の兄弟たちにかわいがってもらっていた。いろんな話をし、ゲムしたり、お菓子を買ってもらったり、なんだか一人っ子に戻ったような(いや、それ以上かな)3日間だった。

## 事務局日誌より

9/14(日) 10:00~13:00	染色(草木染め)教室・・・42名
9/28(木) 19:00~20:00	ミールミニコンサ - ト・・・21名
10/10(金) 10:00~13:00	みそづくり 糍造り・・・大人6名、子ども8名
10/11(土)~13(体育の日)	合せ貝 貝桶 板絵(松尾春海)作品展(花鳥風月を愛でる) - 秋 40名
10/13(体育の日)	山川玉枝(飯塚在住) 琴演奏会・・・22名
10/18(土) 10:00~15:00	みそづくり・・・大人9名、子ども9名
11/3(文化の日)13:00~19:00	いろいろ開き・ミールミニコンサート第17回・・・大人42名、子ども22名
11/6(木) 9時半~12時半	共同保育園どろんこ 竹取・・・大人5名、子ども
11/7(金) 17時~8(土)8時	川南幼稚園お泊り会
11/16(日) 15:00~17:00	アイルランド音楽の夕べ・・・75名



どろんこの竹取



ごちそうができました



アイルランド音楽の夕べ

### 野の花館へのご支援感謝します！

2008年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。

(08・9・01~08・11・30受け入れの方々) [順不同、敬称は省略させていただきました]

アジア砒素ネットワーク、伊藤ミユキ、稲田千穂子、大山磨佐恵、緒方佳枝、梶原やす子、黒木えり子、新城睦子、濱崎恵子、松尾春海、矢野やす子。

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

宛先； 特定非営利活動法人 野の花館

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664

phone & fax ; 0983-23-0701

郷土料理と郷土文化について皆様の思いもお寄せください、お待ちしております！